



野田村地域学校協働活動 ひかり

Vol. 0

地域と学校でつくる 学びの未来



子どもも大人も輝こう 小学校推進員 小林 友美

村民大運動会を覚えていますか。選手を選ぶときは、それぞれの地区でとても苦労しましたよね。でも、当日は子どもも大人も大ハッスル！広いブルーシートをひろげて、持ち寄ったお弁当や出店で買った田楽やら焼きそばやらを食べて、勝ち負け関係なく楽しみました。

小学校で行われていた世代間交流を覚えていますか。おじいちゃんおばあちゃんが学校に来て、いっしょに昔あそびやしめ縄づくりをしました。子どもたちから「〇〇のじじ」「△△のばば」と呼ばれながらも、同窓会のようにおしゃべりに花が咲き、大にぎわいでした。

野田村でもここ20年の間に、「少子化」に伴って学年1クラスが当たり前になりました。教員の「働き方改革」も叫ばれるようになりました。行事や活動の精査が行われ、それはコロナ禍で加速したように感じています。

村民大運動会がスポーツフェスティバルになったように、形を変えて続いている行事もあれば、世代間交流のようにほとんどその形が残っていないものもあります。たった20年で大きな変化を遂げていることに、どこか切なく残念な気持ちにもなりますが、これを時代の流れというのでしよう。

でも、変わっていないものもあります。野田村では今もなお、学校で多くの地域の大人が子どもたちとかかわり、自身の知識と技術を伝えたり、安全を見守ったりしてくださっています。「子どもたちのために」としていることが日課となり、いつしか生きがいとなっている人や、教えているつもりがいつの間にか子どもたちから教えられているという人など、これまでもこれからも、学校は、子どもから大人までみんなが輝く場所なのです。

だから、



親御さんたちも、祖父母のみなさんも、学校に子や孫がいない人でも、老若男女どなたでも、ぜひ、学校へ輝きにいらしてください。推進員がお手伝いします！



数年前に復活！しめ縄づくり体験

